

予 算 審 査 特 別 委 員 会

平成27年3月10日（火曜日）

1. 開 会
1. 予算審査特別委員会委員長の選任
1. 予算審査特別委員会委員長のあいさつ
1. 予算審査特別委員会副委員長の選挙
1. 議案第40号の審査
1. 延会について
1. 延 会

午後1時開会

出席委員（13名）

大友啓一君	只野順君
後藤洋一君	久勉君
杉浦謙一君	大平義孝君
伊藤雅一君	門田善則君
鈴木英雅君	木村正義君
長崎達雄君	大泉治君
遠藤稔雄君	

欠席委員（1名）

加藤紀君

説明のため出席した者の職氏名

町長	安部周治君	副町長	菅原孝治君
総務課長 兼参事	城口貴志生君	総務課長 兼防災交通室長	小島昭君
企画財政課長 兼参事	高橋宏明君	まちづくり推進課長	今野博行君
税務課長 兼参事	佐々木忠弘君	町民生活課長	泉沢幸吉君
町民医療福祉センター 副センター長 兼福祉課長	高橋正幸君	町民医療福祉センター 総務管理課長	浅野孝典君
町民医療福祉センター 健康課長	熊谷健一君	農林振興課長 兼参事	村上芳行君
建設課長	佐々木竹彦君	上下水道課長	安田富夫君
会計管理者 兼会計課長	大崎とみ子君	農業委員会会長	畑岡茂君
農業委員会 兼事務局長	櫻田克嘉君	教育委員会教育長	笠間元道君
教育総務課長 兼給食センター所長	高橋勝一君	生涯学習課長	小野寺和敏君
代表監査委員	柳渕茂君		

事務局職員出席者

事務局長	佐々木健一	総務班長	木村智香子
主査	金山みどり		

◎開会の宣告

(午後1時00分)

○議長(遠藤稔雄君) ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

ここでお知らせしておきます。加藤 紀委員から欠席の届け出が出ております。

-----◇-----

◎開議の宣告

○議長(遠藤稔雄君) 直ちに会議を開きます。

-----◇-----

◎予算審査特別委員会委員長の選任

○議長(遠藤稔雄君) ここで、予算審査特別委員会の委員長を選任しなければなりません。前例に従い、各常任委員長持ち回りと決したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長(遠藤稔雄君) 異議なしと認めます。

よって、今回は総務産業建設厚生常任委員長の久 勉委員長をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午後1時00分

再開 午後1時01分

〔出席議員数休憩前に同じ〕

〔議長、委員長と交代〕

○委員長(久 勉君) 休憩を解いて再開いたします。

-----◇-----

◎予算審査特別委員会委員長の挨拶

○委員長(久 勉君) 予算審査特別委員会開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

平成27年度涌谷町一般会計並びに特別会計の予算審査に当たり、スムーズに進行するよう、議員の皆様方には限られた日数の中で効率よく行うために、質疑は的確に簡潔にお願いします。

そして、参与の皆様方には要領のよい答弁の協力をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

◇

◎予算審査特別委員会副委員長の選挙

○委員長（久 勉君） これより副委員長の選挙を行います。

選挙の方法は指名推選にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。

指名の方法については、委員長において指名推選にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

よって、委員長において指名することに決しました。

副委員長に門田善則君を指名いたします。

◇

◎議案第40号の審査

○委員長（久 勉君） ただいまから平成27年度の各会計の予算説明に入るわけですが、各会計ごとに歳入歳出の説明、質疑、討論、採決を行いたいと思います。

これより審査に入ります。

まず、本委員会に付託された議案第40号平成27年度涌谷町一般会計の審査を行います。

それでは、企画財政課長から歳入歳出の総括説明をお願いいたします。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） それでは、まことに申しわけございませんが、説明に入る前に当初予算書の訂正を1カ所お願いしたいと思います。

当初予算書の1番最後のページ、229ページの地方債明細の合計の欄、一番右下の欄ですが、9億5,925万4,325円と入っているところを、9億8,391万1,048円に訂正方お願いしたいと思います。パソコンの表計算ソフトで範囲指定のミス、事務的なミスでございました。おわびして訂正いたします。

それでは、定例会資料3、平成27年度一般会計当初予算に関する資料、1ページ目をお開きいただきたいと思います。

この資料につきましては、総務省自治財政局が作成いたしました平成27年度の地方財政対策のポイントの抜粋でございます。このページには平成27年度の地方財政のポイントの大きなものが記載されております。それでは、箱の中の太い文字の1通常収支分をごらんください。

主な項目5つが記載されておまして、一番目は、地方創生に必要な歳出を1兆円確保しましたということでございます。ただし、内容といたしましては、新規に財源として確保したのは5,000億円のみで、あとの5,000

億円については、地域の元気創造事業とリーマンショック後に創設された歳出特別枠からの振りかえで手当てされております。

2番目で、一般財源総額を1兆2,000億円増額し、質も改善ということであります。地方みずからの税収がふえて、臨時財政対策債や国からの交付税、譲与税、交付金が減少していることを質の改善と表現しておりますが、税収増の見込みの内訳は、法人事業税が大幅に増加する都道府県税の16.2%増に対し、市町村税は0.5%増にとどまる見通しでございます。よって、市町村にあつては一般財源総額はよくて前年並みと考えております。

3番目では、地方創生等への振替により実質的に歳出特別枠を維持したこと、4番目では交付税原資の国税5%の法定率の見直し、5番目では公共施設老朽化対策で維持補修費等を増額したことに触れております。

次に、下のほうの東日本大震災分でございますが、平成27年度も通常分のほかに大震災の復旧・復興事業の地方負担分等について、震災復興特別交付税6,000億円が計上されております。

それでは、次ページの地方財政計画、歳入歳出一覧通常収支分をごらんください。

この表の上のほう、歳入の計の欄をごらんください。

平成27年度は85兆3,000億円で、前年度よりも1兆9,000億円、2.3%の増でございます。増額の主なものを申し上げますと、歳入では地方税、地方譲与税等が2兆4,000億円と大幅な増額となっており、歳出では一般行政経費の補助事業分や、まち・ひと・しごと創生事業分が大きく増額となっております。

それでは、3ページ目をお開きください。

平成27年度の涌谷町の一般会計予算ですが、歳入についてご説明申し上げます。まず1町税ですが、今年度は14億59万6,000円であり、前年と比較して2,644万6,000円、1.9%の減となっております。軽自動車税とたばこ税を除いて全ての税目で減収になっておりますが、詳細につきましては、後ほど税務課長のほうからご説明申し上げます。

次の2地方譲与税等につきましては、地方財政計画の増減率により30万円の増額を見込んでおります。

また、3利子割交付金から、5株式等譲渡所得割交付金までは、県の試算により計上し、次の6地方消費税交付金は、昨年の消費税増税により31%の増額となっております。

次の7ゴルフ場利用税交付金は利用状況の見込みにより逆に減額の計上となっております。

8自動車取得税交付金及び9地方特例交付金は、地財計画により計上しており、それから10地方交付税につきましては通常分が計画でマイナス0.8%であることに加えまして、前年度は震災特交事業分も見込んでいたため、合計で27億2,600万円、1億7,200万円、5.9%の大幅な減額となっております。

12分担金及び負担金につきましては、保育施設入所に係る負担金の増と、新たな圃場整備事業負担金により増額となっております。

それから、14国庫支出金につきましては5億3,978万円で、前年度比1億7,736万7,000円の減額ですが、主に子育て世帯臨時給付金に係る補助金や、涌谷公民館災害復旧事業に係る補助金等の減額によるものでございます。

15県支出金につきましては5億7,880万6,000円で前年度と比較して、2億2,955万円の増額となっておりますが、主な内容につきましては再生可能エネルギー等導入補助金、多面的機能支払交付金や、農地集積集約化対策事業補助金等で増額となっております。

18繰入金につきましては4億2,187万8,000円の計上となっておりますが、減債基金繰入金等で増となりましたが、元気臨時交付金の受け皿となっていたふるさと涌谷創生基金繰入金の減額により、67万7,000円、0.2%の減額となっております。

20諸収入につきましては、地域振興公社運転資金貸付金返還金等で、増額となっております。

最後に町債につきましては6億9,528万4,000円で、前年度比3億1,428万4,000円の増額ですが、この中で平成11年度、12年度、16年度に借り入れした分の借りかえ債が2億7,418万4,000円ありますので、今年度新たに借り入れるのは、4億2,110万円となります。主なものとしましては、臨時財政対策債及び道路整備事業債、農業基盤整備事業債などとなっております。

以上、歳入総額71億4,650万5,000円、前年度比2億5,240万8,000円、3.7%増となるものでございます。

4ページをお開きください。

歳出をご説明申し上げます。歳出につきましては性質別でご説明申し上げます。

まず、義務的経費のうち、1人件費につきましては、13億2,580万3,000円で、前年度比306万1,000円、0.2%の増となるものでございます。人件費につきましては、後ほど総務課長からご説明申し上げます。

次に、2扶助費でございますが、本年度7億9,057万4,000円で、前年度比2.5%の減額になっております。保育委託経費や子ども医療費で増となりましたが、障害者自立支援事業や、老人保護措置費で減となったため、総体では減額となっております。

次の公債費につきましては前年度よりも2億8,290万円増額の9億8,488万6,000円の計上となっております。このうち2億7,418万4,000円が借りかえに伴うものでございますので、実質は前年度よりも約870万円の増となっております。

次に、4物件費ですが、前年度比1億3,287万4,000円増の11億2,219万7,000円となっておりますが、福祉計画策定委託料等で減額となりましたが、圃場整備に関する委託料や中学校スクールバス運航委託料、番号制度対応システム改修委託料などで増額となりまして、全体では大幅な増額となっております。

6補助費等につきましても、本年度は14億5,547万2,000円で、1億3,524万8,000円の増額となっておりますが、増額の主なものは多面的機能支払交付金や、農地修正集約化補助金などで、減額の主なものは子育て世帯臨時給付金などとなっております。

投資的経費でございますが、7普通建設事業費につきましては4億7,308万3,000円で、前年度比49%の大幅な増になっております。これは、涌谷公民館及びゆらいふにおける太陽光設備整備事業や、涌谷不動堂線踏切拡幅及び道路改良事業等により、増額となったものです。今年度のその他の事業としましては、研修館改修事業や、川畑沢砂防事業、涌谷第一小学校及び涌谷中学校の屋体改修事業、園芸特産重点化補助事業などがあります。

8災害復旧事業費は震災による災害復旧工事が終了したため、皆減となっております。

また、その他ですが、11貸付金では今年度1億876万円で、前年度よりも263万2,000円減額となっておりますが、災害援護資金貸付金での減額が主なものであります。

その他の12繰出金につきましては8億1,315万8,000円で、1,602万2,000円の増額となっておりますが、内容としましては国保会計介護保険会計への増額でございます。なお、予備費には2,000万円を計上するものでござい

ます。

以上で、歳入歳出の総括説明は終わらせていただきます。

続きまして、町財政の現状についてご説明申し上げます。

6ページをお開きください。

初めに、このページの左の上の町税収入、地方交付税及び地方一般財源についてですが、そのうち町税につきましては、平成25年度を頂点に26、27年度と減少してきております。27年度は米価の下落や復興特需が落ち着いてきたことにより減少する見込みとなっており、一般財源の減少は今後の財政運営に大きな影響を与えてくると予想されます。

続きまして、左下の経常的経費の状況につきまして、一般財源と経常的経費の比較をしているグラフと表がございますが、黒の一般財源の計が、グレーの経常的経費よりも大きいほうが財政に余裕が出るということがございます。27年度は一番右側になりますが、経常的経費が一般財源を上回っている状況でございます。歳入不足分を基金の取り崩しで補う要因の1つとなっております。

続きまして、右側の下の部分、年度末基金残高の財政調整基金の欄をごらんください。

平成26年度の現計は10億円弱となっておりますが、27年当初予算編成後では、約7億2,000万円となっております、ほぼ震災前の水準となっております。これは、当初予算で歳入の不足部分を基金を取り崩して編成した結果ですが、この残高がなるべく減少しないような財政運営が必要であると考えております。

次のページをお開きください。

次の目的別の歳出では、まず震災前の平成22年度と平成27年度の比較では、議会費、民生費、農林水産業費が10%程度増加しており、反対に総務費と商工費が減少しております。それ以外の項目ではほぼ横ばいとなっております。

次に、下の公債費ですが、平成24年度、25年度では通常分の借入額が元金償還額を上回り、地方債年度末現在高が増しましたが、今後毎年度の借入金を約5億円程度としますと、地方債年度末現在高が徐々に減少していくものと考えております。

続きまして、次のページをお開きください。

次の、公営企業会計等に対する操出金、負担金、及び出資金等につきましてでございますが、この表とグラフは一般会計から他会計に支出するお金の額でございます。平成27年度当初予算では、全体として平成26年度現計よりも4,700万円増加しております。特別会計の収支不足は原則として一般会計からの操出金で賄われておりますし、企業会計につきましても最終的な収支不足は一般会計で補填されることになると思われまので、財政硬直化の主な要因の1つとなってきております。今後、雨水排水事業による公共下水道会計の繰り出し等の増加要因もございますし、次のページにあります大崎地域広域行政事務組合負担金で、消防本部の建てかえですとか、熱回収施設等の建てかえという大型建設事業による負担金の増加も見込まれておりますことから、今後とも一部事務組合も含めた全会計連結での収支を見ていく必要があると思います。

なお、資料につきましては、9ページから11ページに負担金補助交付金に関する調べをご提示いたしましたし、別資料で第4次総合計画の実施計画を提示いたしました。総合計画の実施計画で、28年度、29年度は第5次総合計画の期間となるもので、あくまで参考ではございますが、後ほどご参照いただきたいと思います。

以上、歳入歳出の総括説明を終わります。

次に、町税の状況について、税務課長から申し上げます。

○委員長（久 勉君） 歳入のうち、町税について説明を求めます。税務課長。

○税務課参事兼課長（佐々木忠弘君） それでは、町税についてご説明を申し上げます。

一般会計予算書の12ページ、13ページをお開きください。

項目の説明に入る前に、27年度の町税の歳入予算の試算に当たり、考え方を申し上げます。

今回、全国地方銀行協会の経済調査を参考とさせていただいております。その経済調査によりますと、日本全体の景気は、消費税率アップの関係で、消費関連の回復がおくれ、生産も力強さを欠き、足踏み状態であるとのことでございます。また、東北地方の景気については、公共工事が若干持ち直しを示しておりますが、個人消費においては、低調となるなど、一進一退の状況にあるようでございます。

以上のようなことから、昨年度の当初予算、26年度の当初予算の所得状況等に若干の下方修正をさせていただき、27年度の歳入予算を積算しておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

それでは、町税全体の総額から説明をしたいと思います。総額では、先ほど財政課長のほうからもありましたけれども、14億59万6,000円、前年度当初に比べましてマイナス2,644万6,000円、1.9%の減額と試算したところでございます。その内訳といたしまして、町民税の個人分につきましては、前年度分で4億7,670万円と試算いたしました。前年度当初と比較いたしますと、マイナスの770万円で、1.6%の減額となったところでございます。このことにつきましては、給与所得者の雇用はある程度確保されており、所得の増加が見込まれるところでございますが、しかし涌谷町の基幹産業である農業事業者では、国の農業政策でコメ値段の大幅な引き下げが行われ、また経済所得安定対策による所得補償についても補償額が2分の1に減額されるなど、農業所得においては、大きな減収が見込まれるところでございます。

次に、法人税につきまして、現年度分で6,911万円、前年度比マイナス1,115万円、13.8%の減と見込んでおります。法人税においては、景気の不透明な点から、各企業においては設備投資の抑制姿勢が見られるなど、伸び悩みを示しており、穏やかな持ち直しに向かうと見られている状況であると言われておりますが、むしろ当町ではマイナス面のほうが多い状況にあることから、均等割、法人税割とも減額で試算したところでございます。

次に、固定資産税について説明をいたします。固定資産税につきましては、現年度分で6億3,700万円で、前年度に比べ、マイナス1,200万円、1.8%の減額を見込みました。その内容といたしましては、土地につきましては平成27年度評価がえによる価格の微増と、住宅用地に係る負担調整の据え置き特例が廃止されることから、微増が見込まれるところでございますが、建物につきましては27年度評価がえにかかわる経年減点による評価減額が大きくなり、26年度新築分、80棟分でございますが新規課税分はあるものの、新築軽減や震災代替取得等があり、減額分を補えるところまでには至りませんでした。

それから、償却資産については、法人税においても説明いたしましたが、景気の行き先が不透明な点から、町内企業の事業者でも設備投資への抑制姿勢が見られ、大きな変化はないものと想定し、試算したところでございます。

次のページになります。

国有資産等所在市町村交付金及び納付金につきましては、82万2,000円を見込んでございます。

次の軽自動車につきましては、現年度分で4,480万円、前年度比410万円の10.0%の増を見込んでございます。これにつきましては、震災後軽自動車の需要が高くなってきていることと、それから平成27年度新規登録分から、改正税率になることから、駆け込み需要があったものでございます。

次に、たばこ税につきましては、1億5,122万4,000円で、前年度比406万7,000円増となっております。

次に、各税目の滞納繰り越し分につきましては、前年度の収入状況から試算を行い、計上いたしてございます。

次に、収納率について申し上げますが、過去の収納実績ベースに1%ないし2%上昇させることを目標に、宮城県全体で組織しております滞納整理機構と連携を図りながら、滞納整理等をさらなる強化をし、徴収に当たってまいりたいと考えております。

以上で税収の説明を終わります。

○委員長（久 勉君） 次に、人件費について総括説明を求めます。総務課長。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） 続きまして、人件費の説明に入らせていただきます。

A3判の会議資料3の12ページをお開きください。

職員人件費につきましては、私の総括説明をもちまして一般会計及び各種特別会計の職員人件費の説明を省略させていただきます。

まず、この表なんですけど、昨年と同じでございます。各項目2段書きになっておりますが、上段の白い部分が平成26年度当初、下段の網かけの部分が平成27年度当初の数値となっております。さらに、網かけの部分には2つの数値が並んでおりますが、左側数値は前年度数値との比較、右側数値が27年度の該当数値となっております。

それでは、上のほうから、1一般会計から順に説明いたします。主に下段の網かけ部分を話します。

まず、一般会計の中のその他特別職の欄をごらんください。その他特別職は、前年度と比較しまして人数で154人増の879人、総額では246万2,000円増の8,252万円となっております。平成27年度は前年度と比較しまして、町長選や町議会議員選、県議会議員選に係る選挙立会人等や国勢調査調査員等で増となり、全体として増額となっております。

その下、教育長及び一般職員については、人数については再任用職員2名を含めて前年度と同数で165人です。予算額については給料では1,736万2,000円減、反対に職員手当等で1,088万2,000円、共済費で617万1,000円の増額となり、合計ではほぼ前年度並みの11億2,846万2,000円となっております。職員手当等の増額は、寒冷地手当の約1,000万円の増額が主な要因となっております。

一般会計の合計としましては、人数では154人増の1,061人、金額については306万1,000円増額の13億2,580万3,000円となります。

次に、真ん中あたりの4介護保険事業勘定特別会計ですが、その他特別職で19名増ですが、これは介護認定審査会委員、包括支援センター運営協議会委員、及び認知症対策委員の増でございます。

そして、2国民健康保険事業勘定特別会計、それから3公共下水道事業特別会計及び5水道事業会計では、人数は前年度と同じですが、職員の異動等により、それぞれ金額が増減しております。

6の国民健康保険病院事業会計におきましては、一般職員6名増となっておりますが、内訳としましては、医

師2名の減、任用がえ等による看護職9名の増、行政職1名の減となっております。金額につきましては、会計全体で前年度比3,982万円増額の8億9,638万8,000円となっております。引き続き医療従事者の確保が課題となっております。

7 老人保健施設会計につきましては、一般職員5名増ですが、内訳は技術職1名、介護職4名の増でございます。金額につきましては、前年度比3,063万2,000円増額の2億963万円となっております。特に、介護職の確保が課題となっております。

以上、人件費全体では人数では185人増の1,259人、金額では6,624万9,000円増の26億768万1,000円となっております。

これで、人件費の説明を終わります。

○委員長（久 勉君） これより議案第40号 平成27年度涌谷町一般会計予算の歳出の説明を求めます。

各款の説明につきましては、新規事業あるいは重点事業に絞って、また施政方針との関連があるものについて説明をいただきます。経常経費につきましても同様をお願いいたします。

各課、順次説明願います。

○議会事務局長（佐々木健一君） それでは、歳出についてご説明申し上げます。予算書46ページ、47ページをお開き願います。

1 款議会費、2 議会管理運営経費でございますが、年間の議会運営等に要する費用を計上いたしており、前年度対比168万5,000円の増額となっております。議員共済組合負担金につきましては、負担率の増で増額となっております。旅費につきましては、各委員会の調査費の単価増と広報広聴常任委員会の調査費の増額をお願いしてございます。終わります。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） 50、51ページをお開きください。

2 款総務費の中の2 細目一般管理経費でございます。ここでは役場内の全般的な管理に要する費用を計上しておりますが、今年度は3,161万9,000円でございます。前年度より79万7,000円増額となっております。前年度と比較して、まず減額となったのは7 節賃金に計上しておりました身障者嘱託雇用分約240万円でございます。補正でもお話ししましたが、復帰のめどが立たないため減額としておりますが、身障者の方の臨時雇用分は引き続き計上しております。また、増額となったものとしましては、委託料で標準報酬移行処理業務委託料で30万7,000円、番号制度対応例規整備業務委託料で108万円、行政不服審査法関連例規整備業務委託料129万6,000円でございます。いずれも国の法律改正により、平成27年度中に整備する必要があり、職員だけでは対応ができかねる部分について、新たに業務委託するものでございます。また、普通旅費、公債費において昨年度並みの予算をお願いするものでございます。本年度も友好協力協定を締結いたしました大石田町や十文字学園、そして東大寺や生薬まちづくり事業でお世話いただいている関係機関の方々と、その交流や事業化、また役場の事業推進に必要な経費として計上させていただいております。

次の細目の3、52、53ページですけれども、職員研修経費につきましては、自治体職員としての自覚を涵養し、職務能力の向上と人材育成とを結びつけた実務研修を行い、組織力の向上、町民サービスの向上を図るものでございます。

9 節旅費については、前年度から始まりました職員自主研修分について増額となっております。19節にありま

す自治振興センター負担金77万5,000円については、富谷町にある公務研修所で行います階層別研修及び専門研修に係る負担金です。また、自衛隊研修も引き続き実施する予定でございます。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 次の2目文書広報費でございます。52ページから55ページでございますが、前年度比較274万4,000円の増額になっておりますが、これはさきに債務負担行為をお認めいただきました委託料におきまして町勢要覧の作成業務委託があるため増額となったものでございます。終わります。

○会計管理者兼会計課長（大崎とみ子君） 続きまして、3目会計管理費、会計事務経費でございます。主な事業内容、2ページにもお示しましたとおり、役務費、手数料、コンビニ収納手数料が昨年よりも98万5,000円増額になっております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 次の4目財産管理費のうち、細目1の管財一般経費でございます。管財一般経費については、昨年同様の考え方で予算編成をしておりますが、次のページ、57ページの13委託料の一番目にあります相の沼管理委託料につきまして、相の沼愛護会のほうから行革の関係で委託料をここ数年計上しておらなかったんですが、油代等の費用がかかるということで、ぜひお願いしたいということで、本年度10万円復活させております。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） その下、2庁舎管理経費でございます。本庁舎敷地内の土地建物や設備全般についての管理運営、修繕等を行う経費でございます。本年度は約7,000万円の減額となりましたが、昨年計上しておりました本庁舎の耐震工事、防水工事、庁舎カウンター改修工事等が減額となったために大きく減額となっております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 次のページ、58ページ、59ページでございますが、企画調整経費について、主な事業概要の3ページをごらんいただきたいと思っております。

主な事業概要の3ページのほうに企画調整経費の主な事業について記載しておりますが、そのうち特に中段、町政60周年記念事業、本年は町政施行60周年に当たりますことから、建町記念式とあわせ、町内外の涌谷町にゆかりのある方々を招待し、基調講演を行うということで、まだ涌谷町内の60周年記念映像の作成、それから広報わくやのロゴタイトルの募集など、87万円新規に予算を計上してございます。

細目2の財政管理経費については、例年同様の考え方で計上をいたしております。

それから、次のページ、60ページ、61ページ、基金管理経費ということでふるさと創生震災復興庁舎基金のそれぞれ利子分の積立を行うものでございます。終わります。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） 続きまして、その下4、情報化推進経費でございます。主に住民情報システムやパソコン、インターネット等の管理運営経費でございます。今年度は9,416万5,000円で、前年度よりも3,819万円多くなってございますが、増額の主な要因は、番号制度に係る準備費用の増額によるものでございます。12節の番号制度統合宛名システム保守管理手数料、13節委託料の番号制度対応システム改修業務委託料、18節番号制度関連機器購入費、19節番号制度中間サーバープラットフォーム利用負担金が今年度新規に計上されております。

それでは、番号制度について、今後のスケジュール等についてご説明します。会議資料の2、11ページをお開きください。

番号制度につきましては、いろんなことをたくさん説明しなくてはならないとは思っておりますが、今回は導

入までの今後のスケジュールについて、簡単に説明したいと思います。まず、この表の上のほうの平成25年度の列でございますが、法案成立と書いてあります。法案自体は平成25年度に成立しまして、制度は平成26年、右側ですね、地方公共団体情報システム機構設立を経まして、平成27年の10月から付番が始まります。これは、国民一人一人に12桁の番号をつけるということでございまして、番号を記した通知カードが各人宛に配布される予定でございます。その後、平成28年1月から個人番号カードが交付されます。これは、全ての人に一方的に送られるということではなくて、申請した人に交付されるというものでございます。カードの使い道については、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、ICチップに電子証明書が搭載され、各種電子申請に使用できるということが言われておりますが、具体的な使い方については現在も検討中ということでございます。

個人番号カード交付関連事業に関する経費は、戸籍住民基本台帳費に計上しております。番号制度自体は、社会保障関係の申請事務を初めとしまして、徐々に社会生活に取り入れられるようになっていくと思いますが、いずれにしても、本格的な運用はこの表の右側の下に情報連携とあるように、平成29年度7月以降になるのではないかというふうに思っております。

今回の当初予算の位置づけですが、左側の真ん中あたりに③既存システム改修、括弧の中に地方自治体というところがありますが、この行の真ん中あたりの平成27年度のところに当たります。既存住基システムの改修、機構との連携テスト、税務システム改修、それからその下、団体内統合宛名システム等整備、さらにその下社会保障関係システム改修、そして、平成27年度の列の下から2番目、ハードウェアの設定導入、そしてその下の条例制定、条例改正が今回情報化推進経費及び一般管理経費に計上したものでございます。

言葉足らずではございますが、番号制度のスケジュールにつきましては、以上でございます。

予算書の61ページにお戻りください。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 細目5の総合計画査定経費でございますが、28年度からの第5次総合計画策定に向け、本年度に引き続き平成27年度計画策定業務を遂行するものでございます。

62、63ページをお開きください。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） 公平委員会会費につきましては、公務員の不服申し立てなどを審査する公平委員会事務を県に委託するための負担金でございます。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 7目自治振興費行政区長関連経費でございます。行政区長の報酬等を計上しております。終わります。

○総務課防災安全室長（小島 昭君） 8目交通安全対策経費でございます。交通安全の普及啓発活動に要する交通安全の指導員の報酬と年間の所要額を計上いたしております。前年度対比で31万8,000円の減となっておりますけれども、内訳としましては備品購入費の減、増額としましては指導員の費用弁償、専従指導員の人件費の増額でございます。終わります。

○総務課参事兼課長（城口貴志生君） 次の9目職員厚生費、1職員福利厚生経費でございます。これにつきましては、職員の基礎健診や特定健診等に係る委託料179万6,000と各種がん検診につきまして嘱託職員への助成金3万8,000円を計上いたしております。終わります。

○まちづくり推進課長（今野博行君） 10目1コミュニティー事業経費でございますが、事業概要につきましては、

6 ページに掲載しております。昨年度比較で62万8,000円の減額となっております。11節⑥修繕料で中地区コミュニティセンターの床の修繕をお願いします。

66ページ、67ページの19節④補助交付金につきましては、3区と日向区に新たに自治会が設立されますことから、活動及び設立補助金が増額となっております。集会所整備につきましては、北田、短台、成沢の各集会所を予定しております。

生薬を生かしたまちづくり事業につきましては、生薬まちづくりの会等への補助金と、国際基督教大学等での活動を予定しております。以上です。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 次の11目土地開発基金費、12目財政調整基金費、13目減災基金費でございますが、それぞれ基金管理経費でございます。財政調整基金につきましては、利子分と繰越額の2分の1を積み立てるもの、土地と減債については利子相当分を積立をするものでございます。終わります。

○総務課防災安全室長（小島 昭君） 14諸費1細目1で、防犯経費でございます。安全・安心推進協議会の開催費用、防犯灯の電気料等、防犯協会等の活動に要する補助金でございます。なお、LED防犯灯の補助金も盛り込んでございます。終わります。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 次の68、69ページ、細目2のその他諸費でございますが、地域公共交通会議の報酬費用弁償、それから町の総合賠償補償保険料、それから町民バスの運行委託、その他負担金では宮城カントリーの法人会費、県国際化協会負担金等を計上しております。

それで、④の補助交付金でございますが、主な事業概要9ページをお開きいただきたいと思っております。失礼いたしました、8ページでございます。国際交流事業ということで、町政施行60周年記念事業を行うに当たり、林川面の方々をまたご招待し、できれば式典に参加していただきたいということで、国際交流協会の補助金について例年よりも増額し、予算計上しておりますので、よろしく願いいたします。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 15目消費者対策経費でございます。専任の相談員の報酬や、普及啓蒙に要する経費を計上しております。終わります。

○税務課参事兼課長（佐々木忠弘君） 70ページ、71ページ、2項の徴税費でございます。税務総務費、次のページの賦課徴収費に関しては、年間の所要経費をお願いしてございます。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 74ページ、75ページをお開きください。3項1目戸籍住民台帳事務経費でございます。戸籍及び住民票等の事務管理に要する所要額を計上しております。対前年比較で836万7,000円の増額でございますが、要因として社会保障番号制度導入で、地方公共団体情報システム機構への負担金でございます。終わります。

○総務企画課参事兼課長（城口貴志生君） その下、4項選挙費、1、選挙管理委員会経費でございます。定時登録に関する経費や参考図書等の経費になります。

また、選挙啓発経費の中では、啓発物資を若干見込むものでございます。

その下、宮城県議会議員選挙につきましては、703万8,000円の計上でございます。任期満了が平成27年11月12日でございます。なお、この経費につきましては、県支出金で措置するものでございます。

次のページ、78、79ページ、涌谷町議会議員選挙につきましては、889万2,000円でございます。任期満了は27年12月31日でございます。

次に、80、81ページ、涌谷町長選挙費753万円でございます。任期満了は、平成27年8月30日でございます。
なお、先日の選挙管理委員会投票日は27年8月9日と決定いたしております。3つの選挙とも所要の経費を計上いたすものでございます。終わります。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 80ページ、81ページ、5項統計調査費でございますが、対前年337万2,000円増額となっております。次の82、83ページをお聞きいただきたいと思います。中段にありますことは5年に1回の国勢調査の該当年ということで、国勢調査に係る経費643万7,000円を計上したため、大幅な伸びとなったものでございます。終わります。

○議会議務局長（佐々木健一君） 監査委員費でございます。監査委員経費につきましては、前年度比較1万4,000円の増額で、監査の年間所要額をお願いするものでございます。終わります。

○委員長（久 勉君） 暫時休憩します。再開は2時5分。

休憩 午後1時54分

再開 午後2時05分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（久 勉君） 再開します。

ここで、企画財政課長より訂正がありますので、許可いたします。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 冒頭にお話ししたのに続いて、予算書の訂正方お願いしたいと思います。6ページ、第2表債務負担行為でございますが、宮城県信用保証協会に対する損失補償、同じ項目が2つ入っております。1つ削除いただきたいと思います。大変単純な、事務的なミスで申しわけございませんでした。よろしく願いいたします。信用保証協会に対する損失補償、2段同じものが入っておりますので。

○委員長（久 勉君） それでは、引き続き説明をお願いします。

○町民医療福祉センター副センター長兼福祉課長（高橋正幸君） 84ページ、85ページをお聞きいただきます。主な事業概要13ページからでございます。

3款1項1目2社会福祉総務費につきましては、前年対比572万7,000円の増額でございますが、国保会計の操出金の増加に対しまして、昨年度行いました福祉計画策定業務委託料の減によるものでございます。

86ページ、87ページをお聞きいただきます。

4臨時福祉給付金支給経費につきましては、平成26年度臨時福祉給付費金につきまして、6月補正をお願いいたしました。平成27年度につきましても、低所得者に対し、消費税引き上げによる影響を緩和するため、引き続き行うもので、対象者1人につき6,000円を支給するもので、対象者4,018人と捉え、必要経費をお願いするものでございます。以上、支給経費につきましては、全額国庫補助となるものでございます。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 次のページ、88ページ、89ページをお聞き願います。国民年金事務経費でございます。国民年金の事務手続等に要します経費を計上しております。前年対比64万8,000円の減額でございますが、前年度はシステム改修を行ったものによるものでございます。終わります。

○町民医療福祉センター副センター長兼福祉課長（高橋正幸君） 3目老人福祉費、1在宅老人福祉経費につま

しては、前年対比5,840万8,000円の増額でございますが、内訳といたしましてゆうらいふに太陽光発電設備といたしまして、5,486万円、同じくゆうらいふ特別養護老人ホームの床改修工事といたしまして、371万2,000円をお願いするものでございます。

90ページ、91ページをお開きいただきます。

2 敬老事業経費につきましては、敬老祝い金及び敬老会に関する所要額をお願いするものでございます。

4 老人保護措置経費につきましては、前年対比1,157万2,000円の減額になりますが、昨年から6人減少したことによるものでございます。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 5 介護保険対策経費でございますが、介護保険会計への繰出金でございます。

次の92ページ、93ページをお開き願います。

7 後期高齢者医療対策経費でございますが、19節負担金補助及び交付金につきましては、後期高齢者医療費にかかる町の負担分12分の1を計上いたしております。

次の28節繰出金につきましては、後期高齢者医療保険会計への繰出金でございます。終わります。

○町民医療福祉センター副センター長兼福祉課長（高橋正幸君） 4 目障害者福祉費、1 在宅障害者福祉費につきましては、前年対比420万円の増額になりますが、ほなみ園運営費負担金の増加及び心身障害者医療費の伸びによるものでございます。

6 障害者自立支援費につきましては、障害者医療費等の自立支援事業経費及び相談支援事業所の強化等、地域生活支援事業に要する所要額の計上でございます。

94ページ、95ページをお開きいただきます。

2 項1目児童福祉総務費、3 児童手当支給経費につきましては、前年対比456万4,000円の減額でございますが、児童数の減少による年間所要見込額を計上したものでございます。終わります。

○教育総務課参事兼課長兼給食センター課長（高橋勝一君） 次に、4の保育委託経費でございます。涌谷保育園及び広域保育所の利用に要します委託料及び涌谷保育園に対します補助金について、計上をさせていただきます。終わります。

○町民医療福祉センター副センター長兼福祉課長（高橋正幸君） 5 子ども医療費支給経費につきましては、前年対比729万8,000円の増額でございますが、年間所要見込額の計上でございます。

6 子育て世帯臨時特例給付金支給経費につきましては、臨時福祉給付金と同様であります。昨年に引き続き消費税引き上げによる影響を踏まえ、子育て世帯に対しまして、対象児童1人につき3,000円を支給するもので、対象児童1,930人と捉え、必要経費をお願いするものでございます。以上支給経費につきましては、全額国庫補助となるものでございます。

98ページ、99ページをお開きいただきます。

3 目母子福祉費につきましては、年間所要見込額をお願いするものでございます。終わります。

○教育総務課参事兼課長兼給食センター所長（高橋勝一君） 次に、4目児童館費でございます。98ページから101ページにわたります。八雲児童館、杉の子学童クラブ、涌谷第一小学校の学童クラブの及び小里・笹岳学童クラブの年間の管理運営に係る経費を計上いたしてでございます。前年度比較で85万6,000円の増額になってござ

いますが、臨時職員に要します社会保険料、雇用保険料と賃金と役務費が主なものでございます。

また、当初に計上しておりませんでした。昨年度開設した小里・篁岳学童クラブの管理経費を計上いたしておることもその要因となっております。

100ページの児童遊園管理経費でございます。児童遊園の遊具の年間の維持管理について計上をしているものでございます。

102、103ページをお願いいたします。6目保育費でございます。この経費につきましては、105ページまでにわたっております。さくらんぼこども園の年間の管理運営に要します経費を計上をお願いしてございます。なお、短時間児保育に係ります経費につきましては、幼稚園経費のほうに案分で計上してございます。前年度比で826万4,000円の減となっておりますが、主なものは職員人件費となっております。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 104ページ、105ページをお開き願います。

3項1目災害救助費でございます。使用料及び賃借料につきましては、災害援護資金管理システムの使用料で、貸付金につきましては、27年度は見込み額として250万円を計上しております。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 106ページ、107ページをお開き願います。

4款衛生費でございます。主な事業概要は、27ページから29ページとなっております。まず、1項1目保健衛生総務費2保健衛生事務経費でございますが、年間の所用見込額を計上いたしております。

続きまして、108ページ、109ページをお開き願います。

3母子保健事業費でございますが、乳幼児健診における医師等への報償費、また妊婦1人につき14回までの妊婦健診委託料を計上いたしております。

次に、4健康づくり推進経費でございますが、町民の健康づくりの担い手である健康推進員319人分の報償費でございます。また、生活習慣改善の呼びかけなど、健康推進員の自主的な活動を行うために、健康推進協議会へ補助いたすものでございます。

続きまして、5地域医療対策経費でございますが、1次救急としての遠田地区在宅当番医制事業委託料、2次救急としての大崎広域病院群輪番制事業負担金、3次救急としての大崎市民病院救命救急センター運営負担金を計上いたしております。なお、大崎広域病院群輪番制事業は、15病院で輪番で日曜祝日に午前9時から、翌朝午前7時半まで診療しておりますが、平成27年4月から古川地区の8病院につきましては、医師の高齢化や看護師不足等により診療時間を午前9時から午後10時までに短縮することと決定しております。古川地区以外の病院につきましては、従前のおりでございます。その関係で負担金が61万2,000円ほど減額となっております。また、大崎市民病院救命救急センター負担金につきましては、患者数の増等に伴い、467万6,000円増となっております。

続きまして、110ページ、111ページをお開き願います。

6食育推進経費でございますが、幼稚園、保育園の園児とその父兄や、小中学生を対象に実施する食育推進事業経費を計上いたしております。また、食育推進大会等の事業推進のために、食育推進協議会への補助金を計上いたしております。

続きまして、2目予防費1予防接種経費でございますが、乳幼児から高齢者まで対象の各種予防接種の経費を計上いたしております。

次に、2結核予防費でございますが、65歳以上を対象に胸部レントゲン検査の委託料を計上いたしております。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 次に3目環境衛生費1葬祭場運営経費につきましては、大崎地域広域行政事務組合への葬祭場管理運営に係る負担金でございます。

次の112ページ、113ページをお開きください。

2の環境美化推進経費でございます。狂犬病予防注射業務や、ごみの不法投棄物の処理に要します経費を計上してございます。

次の3公衆衛生組合活動経費でございます。公衆衛生組合連合会への活動運営補助金を計上してございます。終わります。

○上下水道課長（安田富夫君） 次に、5生活排水処理施設経費、19節負担金補助及び交付金④補助交付金、合併処理浄化槽設置整備事業補助金でございまして、5人槽5基、7人槽9基、合わせまして14基分の補助金でございます。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 114ページ、115ページをお開き願います。

4目疾病予防対策事業費でございますが、各種がん検診、後期高齢者健診等の経費を計上いたしております。終わります。

○町民生活課長（泉沢幸吉君） 2項1目じんかい処経費でございます。町内一斉清掃の経費と、大崎地域広域行政事務組合への負担金を計上してございます。

次の2目し尿処理費でございます。し尿処理に関しましても、大崎地域広域行政事務組合の負担金でございます。終わります。

○町民医療福祉センター総務管理課長（浅野孝典君） 4項医療福祉センター費1目医療福祉センター費2医療福祉センター管理経費でございます。年間の管理費用を計上してございます。

1報酬でございますが、健康と福祉の丘運営委員会報酬につきましては、部会開催も含め、9人の8回を予定いたしているところでございます。

次の116ページ、117ページをお開き願います。

引き続き管理経費の年間所要額を計上してございます。

11需用費の中の⑥修繕費につきましては、建物の小破修理、特に研修ホール付近の雨漏り、防水修繕が主なところでございます。

15工事請負費は、宮城環境交付金事業を活用し、健康課、福祉課事務室内を省エネ型照明器具への改修工事を予定とするものでございます。

次のページ、118ページ、119ページをお開き願います。

3の看護師等奨学資金貸付事業経費でございますが、昨年の12月会議で条例改正お認めをいただきました貸付金につきまして、貸与額を月額3万1,000円から6万円に改め、新規3名、継続1名、計4名分の288万円をお願いいたすものでございます。

2目世代館研修館費1世代館研修館運営経費でございますが、これもさきの12月会議でお認めをいただきました指定管理の指定につきまして、13節指定管理委託料として1,950万円をお願いいたすものでございます。委託

料の算定額につきましては、平成26年度更新設置をいたしましたトレーニングマシンのリース料を除く、受付案内業務、施設清掃、警備、設備補修、そして健康パーク植栽管理等12項目の業務内容に係る運営経費から、宿泊、トレーニングルーム使用料等の歳入を差し引いた額1,950万円を指定管理料の委託料といたすものでございます。

14使用料及び賃借料につきましては、トレーニングマシン13基分のリース料、15工事請負費につきましては、研修館も平成2年に開設供用を開始し、25年目を迎え、経年劣化も進んでいるところでございますが、平成27年度におきましては、研修館の屋根塗装工事342.5平米、あとは研修館防水改修工事1,405平米、そして洋室4部屋の空調改修工事をお願いいたすものでございます。

3目病院費1病院対策経費でございますが、交付税の算定分、2億2,752万7,000円と、過去に行いました冷温水発生器の修繕費に係る償還金、そして一般会計の負担額として、366万1,000円、そして今年度病院部門におきましても宮城環境交付金を活用して、省エネ型照明器具に改修を予定しており、その環境交付金206万6,000円、そして一般会計単独分として4,500万円、合わせて2億7,825万4,000円の負担金となるものでございます。終わります。

○農業委員会事務局長（櫻田克嘉君） 続きまして、120ページ、121ページをお開きください。

6款農業費農林水産業費1項1目農業委員会費でございますが、農業委員会運営経費及び事務局経費、農業者年金事務経費と、平成26年度の年度途中より事務を開始しました農地中間管理事業経費について年間の所要額を計上いたしております。終わります。

○農林振興課参事兼課長（村上芳行君） 続きまして、2目農業総務費325万円の増額でございますが、営農センター施設利用負担金252万円を含む年間所要見込み額をお願いするものでございます。

次の124ページをお開きください。

3目農業振興費2,016万7,000円の増額でございますが、主なものといたしましては新規で2年後の認定に再挑戦する大崎地域世界農業遺産推進協議会負担金10万円の増、また本年度も継続して施設園芸の振興拡大を図るため、園芸特産重点強化整備事業費補助金1,577万3,000円、あと地産地消と食の安全・安心のPRを図るため、食の町民まつり開催に当たり、地域活性化実行委員会補助金150万円の交付及び、6次産業化に取り組む農業者に対しまして支援する補助金50万円をお願いするものでございます。また、昨年の米価下落対策といたしまして、稲作再生準備資金貸付金利子補給補助金として、30万円の利子補給を行ってまいります。

次の4目畜産業費301万4,000円の増額でございますが、次のページをお開きください。

委託料で、福島原発で発生いたしました汚染牧草、汚染稲わらの一時保管業務委託料として、114万6,000円をお願いするものでございます。また、3年後の平成29年に宮城県で開催されます全国和牛能力共進会に向け、優良雌牛保留奨励事業を継続するとともに、新たに出品候補牛調整事業といたしまして、72頭分144万円を補助交付をお願いするものでございます。

次の5目農地費でございますが、次のページをお開きください。

本年度は新たに出来川左岸上流圃場整備計画面積340ヘクタールにかかわる地形図作成業務委託料2,894万8,000円と農地等現況調査、土壌調査を行う形態規制促進換地等調整業務委託料1,001万7,000円をお願いするものでございます。

また、27年度から法制化され、町から直接支払われます多目的機能支払交付金7,840万8,000円をお願いするものでございます。その他の負担金補助金、及び交付金につきましては、それぞれ協定やガイドラインに基づくものでございます。

次の農業振興地域整備費5万円の減額でございますが、農振地域見直しにかかわる経費をお願いするものでございます。

○生涯学習課長（小野寺和敏君） それでは、130ページ、131ページをお開きください。

8目農村環境改善センター費、農業環境改善センター運営経費でございますが、前年度より952万3,000円の増額でございます。主な増額につきましては、農村環境改善センターの外壁改修工事と、事務室及び会議室のブラインド交換工事でございます。改修工事につきましては、多目的ホールの屋根が経年劣化により防水機能が低下し、数カ所に雨漏りが見られること、また玄関入って吹き抜け窓の雨漏り対策として、シーリングを接着して防水を図るものでございます。その他、それぞれ年間の所要額をお願いするものでございます。終わります。

○農林振興課参事兼課長（村上芳行君） 続きまして、14目農村地域定住促進対策事業費75万5,000円の増額でございますが、石仏広場の管理経費で植栽管理業務委託料、刈り木伐採業務委託料を含む石仏広場の年間管理所所要額をお願いするものでございます。

次のページをお開きください。

15目農村整備事業費666万9,000円の減額でございますが、農道台帳管理事業負担金及び農集排特別会計へ1億1,017万7,000円の繰出をお願いするものでございます。

次の17目水田農業構造改革対策事業費2,914万7,000円の増額でございますが、昨年に引き続きまして、人・農地プランの見直しにかかわる経費及び補助交付金で集落営農等転作作物の進出確保のため、集団化した転作面積に応じて交付する集団転作推進事業費補助金350万円、環境保全型農業の取り組みに対して400万円、青年就農給付金経営開始型2名に対しまして300万円、農地中間管理機構経営転換協力金、農地集積集約化対策事業補助金3,280万円を合わせて補助交付金5,141万円をお願いするものでございます。

次の2項1目林業振興費122万7,000円の減額でございますが、昨年に引き続き松くい虫の伐倒駆除等を含め、年間所要見込み額をお願いするものでございます。終わります。

○まちづくり推進課長（今野博行君） 134、135ページをお願いいたします。

7款1項1目商工総務費につきましては、年間の所要見込み額をお願いするものでございます。

2目商工業振興費につきましては、事業概要42ページ、43ページに掲載しております。1商工業振興対策経費につきましては、昨年度比較で458万円増額となっておりますが、137ページ19節④補助交付金で、中小企業振興資金にかかる補助金が、358万6,000円の増額となっております。原資預託金につきましては、年度中の残融資枠の動きを勘案し、同額としております。また、シルバー人材センター補助金につきましては、シルバー人材センターが受ける国庫補助金の額が878万円となったことから、同額を計上し、168万円の増額となったものです。

2企業誘致対策経費につきましては、宮城県企業立地セミナーへの参加、本町既存企業本社等を訪問も含めた経費をお願いするものです。

3目観光費につきましては、事業概要44ページに掲載しております。

138、139ページをお願いいたします。

13節①委託料で、新規事業といたしまして平成22年度に整備いたしました桜台帳につきましては、5年が経過しております。生育状況等の現地の確認を今までしておりませんので、現状を把握し、今後の桜管理事業等に役立てるため、お願いするものです。

19節④補助交付金で、涌谷町観光物産協会補助金につきましては、昨年度比40万円の増額となっております。平成26年度一般会計補正予算第4号におきまして、警備代等の増額を71万円ということをお願いをしたことから、平成27年度におきましても同様のことが考えられます。よって、増額をお願いするものです。また、2年に1回開催される全国町村会主催の町イチ！村イチ！が9月22日、23日東京国際フォーラムで開催されます。そのイベントへの参加を予定しておりまして、歳入で諸収入、助成金10万円、歳出で所要額をお願いしております。以上です。

○建設課長（佐々木竹彦君） 続きまして、8款土木費でございますが、当初予算総額5億4,395万4,000円で、前年度比で1億1,365万1,000円の増額となるものでございます。主な増額につきましては、上涌谷駅踏切拡幅工事の負担金及び川畑沢砂防事業の負担金の増によるものでございます。

次に、1項土木管理経費でございますが、年間の所要額5,798万5,000円をお願いするものでございます。

140ページ、141ページをお開き願います。

2土木総務経費でございますが、年間の所要額116万5,000円、報償費、旅費、研修旅費で6万5,000円の増、需用費に所要額を要望し、委託料、負担金補助及び交付金につきましては、前年並みでお願いするところがございます。

木造診断耐震委託料で前年度は3戸でしたが、今年2戸に、補助交付金の木造耐震改修工事助成事業補助金は昨年2戸でしたが、今年1戸を見込んでおります。

次に、2項道路橋梁費でございますが、年間の所要額2億2,069万円をお願いするものでございます。

2道路橋梁総務費2,886万7,000円は、需用費、役務費、続いて142ページ、143ページの委託料、使用料及び賃借料については、前年と同じく年額の所要額をお願いするものでございます。

負担金補助及び交付金の国県負担金で、新たに今年度から川端沢砂防付託金として、2,400万円ですが、今年度事業は8,000万円の30%分でございます。

3道路台帳整備事業ですが、委託料の道路台帳更新業務委託料120万円と、橋梁点検結果に基づき、今年度橋梁台帳の更新業務に500万円を新たにお願するものでございます。

次に、2目道路維持費でございますが、年間の所要額4,719万4,000円をお願いするものでございます。

賃金、需用費、役務費、使用料、賃料については、年間の所要額でございます。

委託料は1,950万4,000円、町道等維持補修委託料、公共施設環境整備委託料、除草業務委託料でございます。

工事費で2,121万2,000円、前年度比より346万7,000円増で、町道の維持補修等を行うものでございます。

続きまして、144ページ、145ページをお開き願います。

3目道路新設改良費でございますが、年間の所要額1億3,842万9,000円をお願いするものです。

13委託料に2,670万円で、国の交付金等事業により、道路等改修実施設計業務委託料をお願いするものでござ

います。

15工事請負費で3,297万円、交付金事業の上涌谷上郡線の道路改良工事その他町道単独道路改良事業を行うものです。

19負担金補助金交付金に、7,875万9,000円は継続事業の上涌谷の踏切拡幅時のJRへの負担金でございます。

次に、3項都市計画費で、年間の所要額2億5,855万6,000円をお願いするものでございます。1目都市計画総務費、2目公園費、次のページの147、148ページ、3目都市下水道費につきましては、昨年とほぼ同様の所要額をお願いするものでございます。

続いて、4項住宅費でございますが、年間所要額672万3,000円をお願いするものでございます。

1公営住宅管理費590万2,000円、旅費、需用費、役務費、原材料については年間の所要額でございます。

19③その他負担金につきましては、災害公営住宅が完成したことにより、浜江、中江地区への下水道受益者負担金290万円をお願いするものでございます。

基金経費については、昨年同額でございます。

続いて、148ページ、149ページお願いします。

2目住宅建設費災害公営住宅整備事業費82万円は、補助金で浜江、中江地区の住宅入居者に引越し費用の補助金をお願いするものです。以上でございます。

○上下水道課長（安田富夫君） 146、147ページでございます。

4目下水道建設費下水道建設事業費操出金でございますが、2億4,793万5,000円につきましては、下水道事業特別会計に繰出をいたすものでございます。終わります。

○総務課防災交通室長（小島 昭君） それでは、148、149ページをお願いします。

常備消防費につきましては、大崎地域広域行政事務組合の負担金でございます。

次の非常備消防費でございます。主に消防団活動に要します年間所要経費を計上してございます。前年度比で260万円の増額になっておりますけれども、内訳としましては、消防団員に関する、支給する新基準による活動服の購入費で、495万9,000円を見込んでございます。

それと、団員の費用弁償につきましては、単価の増加がございますけれども、訓練等の行事が減ってございますので、減額となっております。消耗品等で減額でございますけれども、3年間の計画で購入してございましたヘッドライト等の購入が生じたことに伴う減額でございます。

次のページをお願いします。

消防施設費でございます。消防施設費につきましては、消防ポンプ置き場や防災行政無線等の維持管理と整備に要する費用でございます。まず、細目1消防施設維持管理経費でございます。修繕料としまして、3分団の1班の詰め所の修理、それから防火水槽のふたの修繕料をお願いしてございます。また、新たに防災行政無線の回線使用料で、53万3,000円の増額を計上しておりますけれども、電波使用料の値上げで90万5,000円の増額となっております。前年度比較で30万7,000円の増額でございます。

次に、2目消防施設整備事業費でございますけれども、223万8,000円の減額でございます。年次計画で整備してきましたホース乾燥塔の建設工事が終了したことが主な理由でございます。

委託料でございますけれども、整備後2年を経過しました同報系の防災行政無線の音達状況調査を実施して、

不感地区の解消に向けての資料とするものでございます。

工事請負費では、小里地区の防火水槽に水道管を布設するほか、旧移動系防災行政無線等の撤去費を計上してございます。

また、備品購入費では、原子力災害に備えるために、U P Z 圏内の短台区、大谷地区の行政区長等に個別受信機を配備したいと考えてございます。

なお、消火栓設置工事につきましては、敷設替えが4カ所、新設工事を2カ所予定してございます。

次のページをお願いします。

水防費でございましては、河川防災ステーションの維持管理に要する年間所要額を計上してございます。前年度比で253万6,000円と大幅な減額でございますけれども、本年は、大崎地方水防工法訓練の大会が終了したものでございます。

災害対策費でございますけれども、細目1の地域防災計画策定費につきましては、防災・水防会議2回分の経費をお願いしてございます。また、委託料でございますけれども、本年度は地域防災計画の修正業務の委託を予定してございます。

細目2災害対策経費につきましては、総合防災訓練に要する費用と、防災指導員の賃金や、協力団体への補助金等の所要額を計上してございます。前年度比で364万円の減額でございますけれども、災害記録集の作成業務がなかったことによるものでございます。内訳としましては、災害防災訓練用が74万1,000円、関係団体への補助金が10万5,000円、防災指導員関係が209万9,000円でございます。

次のページをお願いします。

細目3、国民保護経費でございます。国民保護協議会1回分の所要経費を計上してございます。

細目4原子力災害経費でございます。放射性物質の測定に係る年間の所要額を計上してございます。終わります。

○委員長（久 勉君） 暫時休憩します。開会は3時とします。

休憩 午後2時46分

再開 午後3時00分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（久 勉君） 再開します。

引き続き説明をお願いします。

○教育総務課参事兼課長兼給食センター所長（高橋勝一君） 156、157ページをお願いいたします。

10款の教育費になります。1の委員会運営経費、これにつきましては、教育委員さん方の報酬及び費用弁償等に要します年間の経費をお願いしてございます。

158、159ページをお願いいたします。

2の事務局費でございます。161ページにわたります。事務局の年間運営経費についてお願いしているものでございます。前年度比較で4,111万8,000円の増額となっております。

事務局経費の委託料に計上しておりますスクールバス運行、運転業務委託料が主なものでございます。来年度から涌谷中学校と篁岳中学校が統合し、本年4月1日新生涌谷中学校スタートに伴う篁岳中学校学区の生徒の方々の登下校のスクールバス運行経費に要するものでございます。

それから、委託料の中で、小中学校の海外研修費につきまして19節の負担金補助及び交付金から委託経費のほうに今年度から計上を行ってございます。なお、小学校は今年度につきましても韓国を訪問する計画としております。

160ページ、161ページお願いいたします。

3の奨学資金貸付事業経費でございます。貸付選考委員会経費と継続貸付27人分と、新規者12名分の貸付金に係る経費をお願いしてございます。

次の4の子育て支援経費につきましては、子ども・子育て会議委員の謝礼3回分に要します経費等を計上してございます。昨年度として121万1,000円の減となっておりますが、昨年度は子ども・子育て支援制度に係る準備経費をお願いしてございました。それによるものでございます。

162、163ページをお願いいたします。2項の小学校費でございます。前年度比較で208万6,000円の増額となっております。167ページまでにわたってございます。

1の職員人件費では前年度比較して646万6,000円の減となっております。町内4校の学校管理に要します年間の経費を計上お願いしているものでございます。

2の学校管理経費においても、前年比較で1,025万1,000円の減額となっております。ただ、今年度新たに3の小学校施設設備費として、涌谷第一小学校の屋内運動場の屋根かえ工事費用として1,911万6,000円をお願いしてございます。その関係もあり、今年度増額となっているものでございます。

工事の概要について、ご説明させていただきます。会議資料2の12ページをお願いいたします。

12、13ページと第一小学校の屋内運動場の図面をお示ししてございます。今回雨漏りがひどいということで改修するものですが、屋根全体のうちのどの部分から雨漏りがしているのか特定することができませんので、屋根全体をカラーガルバリウム合板で全面を覆う工事をお願いするものでございます。

予算書166ページ、167のほうにお戻り願います。

2目教育振興費でございます。学校管理経費以外の教育振興事業に要します年間分の経費をお願いしてございます。前年度と比較いたしまして31万3,000円の減額になってございますが、20の扶助費によるものでございます。

3目中学校費でございます。168ページ、169ページをお願いいたします。中学校経費につきましても、172ページまでにわたってございます。前年度比較で1,804万2,000円の増額となっております。

1の職員人件費では前年度比較で81万3,000円の増額となっております。小学校同様、中学校管理に要します経費を計上いたすものでございます。

2の学校管理経費では、前年度比較で600万7,000円の減額となっております。昨年度は工事請負費で空調設備工事があったことや、今回需用費関係のほうで減となっております。それが主な要因でございます。

170ページ、171ページお願いいたします。

3の海外青年招致事業経費でございます。A L Tに要します年間の経費をお願いしてございます。昨年度とほ

ぼ同額の計上となっております。なお、貸家に対します住宅用賃貸借総合補償保険の更新に係る手数料を役務費に、それから負担金補助及び交付金に来日渡航費用として負担を計上しております。渡航経費につきましては、予算編成前にALTから継続の本人の意思を確認できなかったことから、今回計上となっているものでございます。

4 中学校施設設備費で、涌谷中学校の屋内運動場の改修にかかる所用額を計上してございます。

工事につきまして会議資料の2、14ページからの部分を使いまして概要をご説明させていただきます。

今回お願いしている工事につきましては、涌谷中学校の屋内運動場、床、それから図面に掲示しております17ページとなりますが、玄関、金庫、ロッカー室の屋根及びステージの屋上部分について、それから天井部分の撤去、それとステージ上の舞台のどんちょう撤去新設等が主なものでございます。14ページにつきましては、床の部分研磨し、新たに図面の右下のところにかかっておりますバスケットボールコート、それからバドミントンコートなどに係ります競技のラインの引き直しと、引き直し後の塗装、それからステージの研磨及び塗装となっております。

15、17ページにつきましては、15ページにつきましては、そこは玄関、金庫、ロッカー上の屋上の部分となっております。雨漏り等がきておりますので、そこを防水シートで施工しようとするものでございます。

17ページにつきましては、ステージの屋上部分を同じく防水シートで施工するものでございます。

16ページにつきましては、現在一部天井となっている部分を撤去いたしまして、撤去後、鉄骨部分及び天井部分の塗装を行おうとするものでございます。16ページの左手に舞台のつりもの、どんちょう、撤去新設、それらの部分について、今回お願いするものでございます。

予算書172、173ページにお戻り願います。

1の教育振興費、経費でございます。小学校同様に学校管理経費以外の中学校の教育振興事業に要します年間所要額を計上しているものでございます。昨年と比較しまして、49万1,000円の増額という形になってございます。

次に、4項幼稚園費1目幼稚園管理費でございます。177ページまでにわたってございます。前年度比較で744万9,000円の減額となっております。

174、175をお願いいたします。

2の幼稚園管理経費につきまして、前年度比較で475万1,000円の減額となっております。昨年度から囑託の園長が1名となっておりますその賃金の減額、それと昨年度は篁岳幼稚園でテラスの床のすべりどめ工事等がありました部分が主な減の理由でございます。

次のページ、176、177ページをお願いいたします。

4で預かり保育事業経費でございます。前年度比較で230万1,000円の減額となっております。臨時職員賃金の減が主なものでございます。臨時員1名減によるものでございます。1名減となりましても、業務に支障がないよう内部調整により対応いたすこととしてございます。説明を終わります。

○生涯学習課長（小野寺和敏君） 178ページ、179ページをお開きください。

5項社会教育費、社会教育事務経費でございますが、前年度より81万円の増額でございます。主な増額につきましては、大崎地域広域行政事務組合負担金となっております。それから、19節負担金補助及び交付金③そ

の他負担金で、県民文化祭開催負担金10万円を計上いたしてございますが、今年度は大崎地区担当で涌谷町が事務局となります。開催月日はまだ決まっておりませんが、開催場所は田尻の文化センターとなっております。あとは、前年度とほぼ同額の所要額をお願いするものでございます。

次の180ページ、181ページをお開きください。

公民館運営経費でございますが、前年度より6,187万8,000円の増額でございます。主な増額につきましては、新規事業として、国の再生可能エネルギー等導入補助金事業を活用し、防災対応型の太陽光発電設備を設置する予定でございます。事業規模は、太陽光パネル20キロワットと、蓄電システム15キロワットの設備を導入するもので、公民館竣工後は避難所とする予定でございます。工期は、3カ月程度と見込んでございます。

また、昨年度は1回実施いたしました婚活事業を今年度は2回実施予定で委託する経費として100万円をお願いするものでございます。

また、公民館落成式を予定しており、その落成式費用も計上いたしてございます。その他年間所要額をお願いするものでございます。

次の182ページ、183ページをお開きください。

文化財保護経費でございますが、前年度より8万円の減額でございます。昨年度実施しましたプレハブ収蔵庫の燻蒸の終了、及び収蔵庫の電気代等を精査いたしまして、合わせて149万3,000円の減額となりましたが、今年度は仙石家の薬医門のカヤ修繕で75万6,000円、印刷製本費で涌谷の文化財近現代編1,000部と、涌谷伊達家家臣名簿500部作成の所要額をお願いするものでございます。

次の184、185ページをお開きください。

歴史公園管理経費と次のページの史料館管理経費並びに、くがね創庫管理経費でございますが、各施設のリーフレットの増刷費用をお願いいたすものと、あとは年間の施設運営に係ります所要額を昨年とほぼ同額でお願いするものでございます。

次の188ページ、189ページをお開きください。

保健体育事務経費でございますが、前年度より16万2,000円の増額でございます。主な増額につきましては、18節の備品購入費で福祉センターのテニスコートのネット購入費用の増額でございます。あとは事務経費として昨年とほぼ同額の年間所要額をお願いするものでございます。終わります。

○教育総務課参事兼課長兼給食センター所長（高橋勝一君） 190ページ、191ページをお願いいたします。

2目給食センター運営費2給食センター運営経費でございます。今年度から町内小中学校5校への給食を提供に供します所要額をお願いするものでございます。

2の給食センター運営経費につきまして、前年度比較で2,955万5,000円の減額となっております。需用費の賄い材料で児童生徒等の減によるもの、それから昨年度は工事請負費のほうでボイラー1基増設に係ります所要額をお願いしておりましたものが、減額の主なものでございます。なお、教育総務課関係に要します主な事業の概要につきましては、別冊資料1の一般会計及び特別会計予算の主な事業概要、22、23、24から26、50ページから53ページ、それと61ページに掲載してございますので、ご参照いただきたいと思います。終わります。

○生涯学習課長（小野寺和敏君） 3目体育施設費、体育施設管理経費でございますが、前年度より741万6,000円の増額でございます。主な増額といたしましては、修繕料でB&Gプールのロッカーの修繕と、涌谷スタジア

ムのスコアボードの手すりの修繕でございます。

次のページをお開き願います。

工事請負費におきましては、簗岳町民体育館玄関の屋根が経年劣化により、防水機能が低下し、数カ所に雨漏りが見られることから、防水改修工事と同体育館の屋外空調板にいくケーブルの部分が一部露出して、損傷するおそれがあり、改修工事に係る所要額をお願いするものです。

また、勤労福祉センターのキュービクルでございますが、東北電気保安協会から老朽化に伴い、停電するおそれがあるとの指摘事項を受け、今回新規に更新する所要額をお願いするものでございます。

その他は昨年とほぼ同額の年間所要額をお願いするものでございます。終わります。

○企画財政課参事兼課長（高橋宏明君） 196ページ、197ページ、12款公債費1項1目細目1の長期債元金でございます。前年比較2億9,849万4,000円の増でございますが、財源内訳の中にありますように、地方債2億7,418万4,000円の借りかえに伴い、金額が大きくなったものでございます。

それから、12款1項2目細目1長期債利子及び一時借入金利子でございますが、1,559万4,000円減額になっておりますのは、借りかえ等によって利率が低くなったため等でございます。

なお、1本1本の詳細については、予算書218ページから229ページに記載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

それから、14款予備費については2,000万円を計上してございます。

以上で歳出の説明を終わります。

○委員長（久 勉君） 以上で議案第40号 平成27年度涌谷町一般会計予算の説明は終了いたしました。



◎延会について

○委員長（久 勉君） お諮りいたします。

本日はこれをもって延会したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

よって、本日はこれをもって延会することに決しました。



◎延会の宣告

本日はこれで延会いたします。

お疲れさまでした。

延会 午後3時22分